

市政を問う

一般質問

第1回定例会の一般質問は、3月12日、13日の2日間行われ、12人の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行機関に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。

議員名の右側にある2次元コードを読み取ると、録画映像をご視聴いただけます。



立川 徹 議員



古河市の人口について

問 ①過去3年間の転入元・転出先、②外国人の転入・転出者の割合や、転入元・転出先、③転入・転出者の年齢層、④移住支援金申請時のアンケートの回答内容、以上を伺う。

答（市民部長） ①転入は小山市、境町、転出は小山市、さいたま市の順で多い。②転入は約30%、転出は約25%の割合である。転入元は国外は不明、国内は成田

市、常総市、転出先は太田市、ベトナムの順で多い。③転入は20代が約41.5%、転出も20代が約45%と多い。

答（企画政策部長） ④移住の理由は62%が「実家に近い」などで、UターンおよびJターンが多い状況である。古河市を選んだ理由は、都心へのアクセス性という回答が多い。

古河市の道路について

問 ①道路陥没など緊急事態発生時の市の対応方法、②道路修繕の要望に対応する順番などの基準、③市内道路下の水道管、下水道管の管口径の大きさ、④道路陥没の箇所数や原因、⑤水道管、下水道管、電線以外に市が管理する埋設物、以上を伺う。

答（都市建設部長） ①市占用物件を起因とする道路損傷事案が生じた場合、国道、県道は道路管理者の指示に従って対応する。

②安全性を最優先に道路の劣化状況等を総合的に判断し決定している。⑤雨水排水管等がある。

答（上下水道部長） ③水道管は50から1,000ミリメートルまで、下水道管は150から1,500ミリメートルまでの管口径である。④道路陥没は水道管と電線はゼロ件で、下水道管は6件と聞いており、地下水の影響による埋め戻し材の流出が原因と思われる。

